



2022年5月26日

各 位

会社名 大崎電気工業株式会社
代表者名 取締役会長 渡辺 佳英
(コード番号 6644 東証プライム)
問合せ先 取締役常務執行役員経営戦略本部長
上野 隆一
(TEL. 03-3443-7171)

(訂正・数値データ訂正)

「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2022年5月12日に発表いたしました「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部訂正事項がありましたので、下記のとおりお知らせ致します。

なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由

「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の提出後に、「1. 経営成績等の概況」及び「3. 連結財務諸表及び主な注記」について、記載内容の一部に誤りがあることが判明致しましたので、これを訂正させていただくものです。

2. 訂正の内容

○ 添付資料2ページ 「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況」

【訂正前】

(省略)

この結果、当連結会計年度の売上高は76,184百万円と前年度比71百万円(0.1%)の減収、営業利益は1,277百万円と前年度比1,407百万円(52.4%)の減益、経常利益は1,189 万円と前年度比1,698百万円(58.8%)の減益、親会社株主に帰属する当期純利益は658百万円の損失(前年度は482百万円の利益)となりました。

(省略)

【訂正後】

(省略)

この結果、当連結会計年度の売上高は76,184百万円と前年度比71百万円(0.1%)の減収、営業利益は1,277百万円と前年度比1,407百万円(52.4%)の減益、経常利益は1,189 百万円と前年度比1,698百万円(58.8%)の減益、親会社株主に帰属する当期純利益は658百万円の損失(前年度は482百万円の利益)となりました。

(省略)

○ 添付資料12ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 (2)連結損益計算書及び連結包括利益計算書」

【訂正前】

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
(省略)		
営業外費用		
支払利息	384	288
為替差損	55	191
その他	<u>121</u>	136
営業外費用合計	560	616

【訂正後】

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
(省略)		
営業外費用		
支払利息	384	288
為替差損	55	191
その他	<u>120</u>	136
営業外費用合計	560	616

○ 添付資料 22 ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5)連結財務諸表に関する注記事項」

【訂正前】

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「為替差損」は、営業外費用の総額の 100 分の 10 を超えたため、当連結会計年度より独立掲記しております。この表示方法を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。また、前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外費用」の「固定資産除却損」は、営業外費用の総額の 100 分の 10 以下となったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外費用」の「固定資産除却損」77 百万円、「その他」98 百万円は、「為替差損」55 百万円、「その他」121 百万円として組み替えております。

【訂正後】

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「為替差損」は、営業外費用の総額の 100 分の 10 を超えたため、当連結会計年度より独立掲記しております。この表示方法を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。また、前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外費用」の「固定資産除却損」は、営業外費用の総額の 100 分の 10 以下となったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外費用」の「固定資産除却損」77 百万円、「その他」98 百万円は、「為替差損」55 百万円、「その他」120 百万円として組み替えております。